

平成26年3月期 第1四半期決算短信〔米国基準〕（連結）

平成25年7月30日

上場会社名 オムロン株式会社
 コード番号 6645
 代表者 役職名 代表取締役社長
 氏名 山田 義仁
 問合せ先責任者 役職名 執行役員 グローバル理財本部長
 氏名 大上 高 充

上場取引所 東証 市場第一部
 URL <http://www.omron.co.jp/>
 TEL (075)344-7070

四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有・無

四半期決算説明会開催の有無 : 有・無 (投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前四半期純利益		当社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	174,584	16.5	13,014	59.1	12,702	86.1	9,247	95.9
25年3月期第1四半期	149,884	△1.0	8,179	△32.7	6,826	△40.5	4,720	△31.8

(注) 四半期包括利益 26年3月期第1四半期 19,578百万円 (— %) 25年3月期第1四半期 △5,536百万円 (— %)

	1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益	
	円	銭	円	銭
26年3月期第1四半期	42	01	—	—
25年3月期第1四半期	21	44	21	44

(2) 連結財政状態

	総資産	資本合計 (純資産)	株主資本	株主資本比率
	百万円	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	591,153	388,332	386,394	65.4
25年3月期	573,637	368,763	366,962	64.0

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	— —	14 00	— —	23 00	37 00
26年3月期	— —	— —	— —	— —	— —
26年3月期(予想)	— —	18 00	— —	— —	— —

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有・無

(注2) 25年3月期期末配当金の内訳 普通配当18円00銭 記念配当5円00銭

(注3) 26年3月期の期末の配当金は未定です。

詳細は、「※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご参照ください。

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前 当期純利益		当社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	336,000	10.4	22,500	25.1	22,000	27.8	15,500	26.3	70	41
通期	710,000	9.2	58,000	27.9	56,500	37.0	40,000	32.4	181	71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有・無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有・無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用： 有・無

(3) 会計方針の変更

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有・無
② ①以外の会計方針の変更： 有・無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	227,121,372株	25年3月期	227,121,372株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	6,995,884株	25年3月期	6,992,907株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	220,126,832株	25年3月期1Q	220,129,543株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績予想などは、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまな要因により、異なる可能性があります。実際の業績等に影響を与える重要な要因には、(a) 当社グループの事業領域を取り巻く日本および海外の経済情勢、(b) 当社グループ製品・サービスに対する需要動向、(c) 新技術開発・新商品開発における当社グループの能力、(d) 資金調達環境の大幅な変動、(e) 他社との提携・協力関係、(f) 為替・株式市場の動向、(g) 事故・震災などがあります。

なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、P. 6「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

2. 当社は、米国会計基準に基づき連結損益計算書の表示形式としてシングルステップ方式（段階利益を表示しない方式）を採用していますが、他社との比較可能性を高めるため、当決算短信の「営業利益」は、「売上総利益」から「販売費及び一般管理費」、「試験研究開発費」を控除したものを表示しています。

3. 26年3月期の期末配当金につきましては、当社業績予想の確実性が高まった時点で、当社の利益配分に関する基本方針に基づいて決定し開示いたします。時期としては遅くとも、平成26年4月を予定しています。

4. 当社は、平成25年7月30日（火）に投資家向け説明会を開催する予定です。

その模様および説明内容（音声）については、当日使用する決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

(注) 事業の種類別セグメントの名称を次のとおり略して記載しています。

I A B : インダストリアルオートメーションビジネス（制御機器事業）

E M C : エレクトロニック&メカニカルコンポーネントビジネス（電子部品事業）

A E C : オートモティブ・エレクトロニックコンポーネントビジネス（車載事業）

S S B : ソーシャルシステムズ・ソリューション&サービス・ビジネス（社会システム事業）

H C B : ヘルスケアビジネス（ヘルスケア事業）

その他：環境事業推進本部、電子機器事業本部、マイクロデバイス事業推進本部、オムロンレジジョンテクノロジー(株)など

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 6
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 6
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	P. 6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 6
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用	P. 6
(3) 会計方針の変更	P. 6
3. 四半期連結財務諸表	P. 7
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括損益計算書	P. 9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 11
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 12
(継続企業の前提に関する注記)	P. 12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 12
(セグメント情報等)	P. 12
4. 補足情報	P. 14
(1) 連結業績概要	P. 14
(2) 連結セグメント別売上高実績	P. 15
(3) 連結セグメント別営業利益実績	P. 15
(4) 期中平均レート実績	P. 15
(5) 連結セグメント別売上高予想	P. 16
(6) 連結セグメント別営業利益予想	P. 16
(7) 期中平均レート予想	P. 16

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

○ 全般的概況

当第 1 四半期（平成 25 年 4 月～6 月）における当社グループの業績は、全事業セグメントで増収となり、特に AEC（車載事業）、SSB（社会システム事業）、HCB（ヘルスケア事業）、その他事業の売上高が好調に推移しました。さらに AEC、HCB、その他事業の営業利益も好調に推移し、前年同期と比較すると大幅な増収増益となりました。

当第 1 四半期の経済環境認識は以下のとおりです。

<各地域の経済・市場概況>

- 日本： 不透明感はあるものの、政府の経済政策などにより緩やかな回復傾向
- 米国： 住宅市場の底入れや個人消費の堅調な推移などにより回復傾向
- 欧州： 一部の国の金融不安の継続により経済の低迷は継続
- 中国： 製造業指数の低下などは見られるが、底堅い成長は継続
- アジア： 新興国での底堅い個人消費はあるが、成長率の低下など不透明感もある

<当社グループの主な関連市場の状況>

- 自動車関連： 設備投資需要は国内で低迷継続、部品需要は新興国などで好調
- 半導体関連： 低迷は継続しているが、緩やかな回復傾向
- 工作機械関連： 設備投資需要は低迷継続
- 家電・電子部品関連： 設備投資需要は低迷継続、部品需要は海外で好調
- 健康機器関連： 新興国での健康意識の高まりなどで需要は堅調

また、当社グループは当期の年度方針を「Complete the GLOBE Stage!、[成長力]×[収益力]×[変化対応力]を備えた『強い企業』への変革を成し遂げる」とし、実行プランとして「IA 事業の最強化」、「新興国での成長」、「最適化新規事業の拡大」、「収益構造改革の完遂」、「グローバル人材の強化」などを重点的に実行しております。当第 1 四半期におきましても、中長期の売上高・利益拡大に向けた施策を実行し、前年同期と比べ、新興国での売上高の増加など、着実に成果をあげつつあります。

結果としての当第 1 四半期連結累計期間の業績結果は以下のとおりです。

	平成 25 年 3 月期 第 1 四半期連結累計期間	平成 26 年 3 月期 第 1 四半期連結累計期間	増減率
売上高	1,498 億 84 百万円	1,745 億 84 百万円	+16.5%
営業利益	81 億 79 百万円	130 億 14 百万円	+59.1%
税引前四半期純利益	68 億 26 百万円	127 億 2 百万円	+86.1%
当社株主に帰属する 四半期純利益	47 億 20 百万円	92 億 47 百万円	+95.9%
米ドル平均レート	80.4 円	98.3 円	+17.9 円
ユーロ平均レート	103.4 円	127.6 円	+24.2 円

○ セグメント別の状況

I A B (制御機器事業)

		平成 25 年 3 月期 第 1 四半期連結累計期間	平成 26 年 3 月期 第 1 四半期連結累計期間	増減率
外部顧客に対する 売上高	国内	289 億 42 百万円	262 億 25 百万円	△9.4%
	海外	370 億 9 百万円	405 億 43 百万円	+9.5%
	合計	659 億 51 百万円	667 億 68 百万円	+1.2%
営業利益		82 億 1 百万円	76 億 55 百万円	△6.7%

(注) 経営管理区分の見直しにより、平成 26 年 3 月期より、「EMC」傘下の一部を「I A B」の事業セグメントに含め開示しています。これに伴い、平成 25 年 3 月期の営業利益を新管理区分に組替えて表示しています。

<国内売上高の状況>

半導体・工作機械関連業界や自動車・電子部品関連業界の一部において、設備投資需要の回復傾向はあるものの、総じて前年同期に比べて低調に推移したことから、当第 1 四半期における国内売上高は、前年同期比で減少しました。

<海外売上高の状況>

米州は、石油事業の需要が落ち込みましたが、北米・新興国が堅調に推移しました。欧州では不安定な市況が継続しておりますが、需要は前年同期並みとなりました。また、中国・アジアでは、中国の内需の弱含みなどにより需要は低調に推移しましたが、新興国全体の設備投資需要は底堅く、韓国も好調に推移しました。それらの結果、当第 1 四半期における海外売上高は、円安の影響もあり、前年同期比で増加しました。

<営業利益の状況>

I A 強化の継続的な実行により、前年同期比で減少しました。

EMC (電子部品事業)

		平成 25 年 3 月期 第 1 四半期連結累計期間	平成 26 年 3 月期 第 1 四半期連結累計期間	増減率
外部顧客に対する 売上高	国内	66 億 32 百万円	70 億 19 百万円	+5.8%
	海外	146 億 84 百万円	166 億 74 百万円	+13.6%
	合計	213 億 16 百万円	236 億 93 百万円	+11.2%
営業利益		16 億 4 百万円	15 億 40 百万円	△4.0%

(注) 経営管理区分の見直しにより、平成 26 年 3 月期より、「EMC」傘下の一部を「I A B」の事業セグメントに含め開示しています。これに伴い、平成 25 年 3 月期の営業利益を新管理区分に組替えて表示しています。

<国内売上高の状況>

民生業界および自動車関連業界での需要は減少するものの、国内景気の回復を受けて家電業界向けの販売が好調に推移しました。その結果、当第 1 四半期における国内売上高は前年同期比で増加しました。

<海外売上高の状況>

中国や韓国ではモバイル業界向けの販売が堅調に推移し、米州ではビルオートメーションなどの民生業界向けの販売が拡大しました。欧州は民生業界向けと自動車業界向けともに横ばいで推移しました。それらの結果、当第 1 四半期における海外売上高は、円安の影響もあり、前年同期比で大きく増加しました。

<営業利益の状況>

特に海外における生産に関する固定費などが増加し、前年同期比で減少しました。

A E C (車載事業)

		平成 25 年 3 月期 第 1 四半期連結累計期間	平成 26 年 3 月期 第 1 四半期連結累計期間	増減率
外部顧客に対する 売 上 高	国内	81 億 83 百万円	60 億 86 百万円	△25.6%
	海外	159 億 18 百万円	232 億 4 百万円	+45.8%
	合計	241 億 1 百万円	292 億 90 百万円	+21.5%
営 業 利 益		15 億 17 百万円	22 億 10 百万円	+45.7%

<国内売上高の状況>

政府による経済対策の効果やエコカー減税の継続はあるものの、前年9月の補助金終了の影響により自動車需要は前年同期比で減少しました。その結果、当第1四半期における国内売上高は前年同期比で減少しました。

<海外売上高の状況>

金融不安による欧州経済の緊縮財政や雇用環境悪化により欧州市場は低迷しましたが、北米・中国・アジア市場では好調に推移しました。その結果、当第1四半期における海外売上高は、円安の影響もあり、前年同期比で大きく増加しました。

<営業利益の状況>

売上高の増加、円安影響などにより営業利益は前年同期比で大きく増加しました。

S S B (社会システム事業)

		平成 25 年 3 月期 第 1 四半期連結累計期間	平成 26 年 3 月期 第 1 四半期連結累計期間	増減率
外部顧客に対する 売 上 高		100 億 16 百万円	127 億 74 百万円	+27.5%
営 業 利 益 (△損失)		△16 億 52 百万円	△18 億 34 百万円	—

<駅務システム事業の売上高の状況>

鉄道事業各社の駅務機器への設備投資更新に対する需要は引き続き堅調に推移しており、当第1四半期の売上高は前年同期比で大きく増加しました。

<交通管理・道路管理システム事業、他の売上高の状況>

交通管理・道路管理システム事業は、交通安全対策に対する補正予算が計上されるなど交通管制システムの更新などの需要もあり、前年同期比で好調に推移し、当第1四半期の売上高は前年同期比で増加しました。環境ソリューション事業においては、産業用だけでなく住宅用・非住宅用の太陽光発電関連商品の需要増もあり、当第1四半期の売上高は前年同期比で大きく増加しました。

<営業利益の状況>

売上高は大きく増加するも、一時的な固定費の増加により、営業利益は前年同期比で減少しました。

HCB (ヘルスケア事業)

		平成 25 年 3 月期 第 1 四半期連結累計期間	平成 26 年 3 月期 第 1 四半期連結累計期間	増減率
外部顧客に対する 売上高	国内	68 億 32 百万円	68 億 6 百万円	△0.4%
	海外	85 億 34 百万円	141 億 40 百万円	+65.7%
	合計	153 億 66 百万円	209 億 46 百万円	+36.3%
営業利益		9 億 1 百万円	22 億 14 百万円	+145.7%

<国内売上高の状況>

家庭向け健康機器においては、市場が前年割れしているものの、主力商品である血圧計の売上が堅調に推移しました。医療機関向け機器も、基幹病院の投資姿勢にやや回復傾向が見られ、好調に推移しました。それらの結果、当第 1 四半期における国内売上高は前年同期比で横ばいとなりました。

<海外売上高の状況>

海外においては、ロシア・中国・中南米・東南アジアなどの新興国における健康機器商品への需要増加が継続し総じて好調に推移しました。その結果、当第 1 四半期における海外売上高は、円安の影響もあり、前年同期比で大きく増加しました。

<営業利益の状況>

海外の売上高の増加などにより、営業利益は前年同期比で大きく増加しました。

その他事業

		平成 25 年 3 月期 第 1 四半期連結累計期間	平成 26 年 3 月期 第 1 四半期連結累計期間	増減率
外部顧客に対する 売上高		115 億 28 百万円	195 億 33 百万円	+69.4%
営業利益 (△損失)		△10 億 57 百万円	21 億 66 百万円	—

その他のセグメントでは、新規事業の探索・育成と、社内カンパニーに属さない事業の育成・強化を本社直轄事業として担当しています。

<環境事業の売上高の状況>

再生エネルギー利用への関心の高まりによる太陽光発電の普及に伴い、国内市場におけるソーラーパワーコンディショナの需要が拡大し、当第 1 四半期の売上高は前年同期比で大きく増加しました。

<電子機器事業の売上高の状況>

無停電電源装置の需要は堅調に推移するも、産業用組み込みコンピュータなどの需要減により、当第 1 四半期の売上高は前年同期比で減少しました。

<マイクロデバイス事業の売上高の状況>

MEMS マイクロフォンチップの需要が拡大し、当第 1 四半期の売上高は前年同期比で大きく増加しました。

<バックライト事業の売上高の状況>

スマートフォン市場の好調な推移やタブレット分野への参入により、当第 1 四半期の売上高は前年同期比で大きく増加しました。

<営業利益の状況>

各事業の売上高の増加により、営業利益は前年同期比で増加しました。

(2) 財政状態に関する説明

当第 1 四半期連結会計期間末の資産の部は、前連結会計年度末に比べ、現金及び現金同等物の増加などにより 175 億 16 百万円増加して、5,911 億 53 百万円となりました。また、負債の部は未払費用などの減少により、前連結会計年度末に比べ 20 億 53 百万円減少して、2,028 億 21 百万円となりました。純資産の部は為替換算調整額等の変動により、前連結会計年度末に比べ 195 億 69 百万円増加し、3,883 億 32 百万円となりました。株主資本比率は前連結会計年度末の 64.0%から 65.4%となりました。

当第 1 四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況については、営業活動によるキャッシュ・フローは、非支配持分控除前四半期純利益の計上に加え売上債権の回収により、178 億 33 百万円の収入（前年同期比 52 億 50 百万円の収入増）となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、生産設備等への投資実行などにより、55 億 56 百万円の支出（前年同期比 19 億 32 百万円の支出減）となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、短期債務の増加がある一方で、配当金の支払いにより、14 億 13 百万円の支出（前年同期比 34 億 33 百万円の支出増）となりました。以上より、現金及び現金同等物の当第 1 四半期連結会計期間末残高は前連結会計年度末に比べ 120 億 48 百万円増加し、677 億 56 百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第 1 四半期の連結業績は予想の範囲内で推移しており、第 2 四半期連結累計期間および通期の業績予想につきましては平成 25 年 4 月 25 日発表のとおりといたします。なお、第 2 四半期以降の業績予想の前提としております為替レートは、1 米ドル 90 円、1 ユーロ 120 円です。

業績予想などは、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまな要因により異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前連結会計年度 (平成25年3月31日)		当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)	
	金 額	構成比	金 額	構成比
		%		%
(資 産 の 部)				
流 動 資 産	333,694	58.2	348,202	58.9
現金及び現金同等物	55,708		67,756	
受取手形及び売掛金	158,911		151,513	
貸倒引当金	△ 1,988		△ 2,033	
たな卸資産	91,013		99,529	
繰延税金	17,611		19,741	
その他の流動資産	12,439		11,696	
有 形 固 定 資 産	126,835	22.1	129,360	21.9
土地	26,591		26,718	
建物及び構築物	137,821		139,825	
機械その他	156,186		159,293	
建設仮勘定	6,729		7,819	
減価償却累計額	△ 200,492		△ 204,295	
投 資 そ の 他 の 資 産	113,108	19.7	113,591	19.2
関連会社に対する 投資及び貸付金	17,939		17,839	
投資有価証券	38,193		41,547	
施設借用保証金	6,914		6,880	
繰延税金	30,612		27,723	
その他の資産	19,450		19,602	
資 産 合 計	573,637	100.0	591,153	100.0

(単位：百万円)

科 目	前連結会計年度 (平成25年3月31日)		当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)	
	金 額	構成比	金 額	構成比
		%		%
(負債の部)				
流 動 負 債	145,701	25.4	145,412	24.6
短期債務	5,570		9,430	
支払手形及び買掛金・未払金	75,592		78,568	
未払費用	32,818		26,753	
未払税金	3,907		3,014	
その他の流動負債	27,814		27,647	
繰延税金	595	0.1	366	0.1
退職給付引当金	56,944	9.9	55,524	9.4
その他の固定負債	1,634	0.3	1,519	0.2
負債の部合計	204,874	35.7	202,821	34.3
(純資産の部)				
株 主 資 本	366,962	64.0	386,394	65.4
資 本 金	64,100	11.2	64,100	10.8
資 本 剰 余 金	99,066	17.3	99,066	16.8
利 益 準 備 金	10,876	1.9	11,019	1.9
その他の剰余金	253,654	44.2	262,759	44.5
その他の包括利益(△損失)累計額	△ 44,349	△ 7.7	△ 34,155	△ 5.8
為替換算調整額	△ 14,224		△ 5,510	
退職年金債務調整額	△ 39,730		△ 39,442	
売却可能有価証券未実現利益	9,580		10,974	
デリバティブ純利益(△純損失)	25		△ 177	
自 己 株 式	△ 16,385	△ 2.9	△ 16,395	△ 2.8
非 支 配 持 分	1,801	0.3	1,938	0.3
純資産の部合計	368,763	64.3	388,332	65.7
負債及び純資産合計	573,637	100.0	591,153	100.0

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括損益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

科 目	前第1四半期連結累計期間 〔自平成24年4月1日〕 〔至平成24年6月30日〕		当第1四半期連結累計期間 〔自平成25年4月1日〕 〔至平成25年6月30日〕	
	金 額	百分比	金 額	百分比
		%		%
売 上 高	149,884	100.0	174,584	100.0
売 上 原 価	95,081	63.4	108,916	62.4
売 上 総 利 益	54,803	36.6	65,668	37.6
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	36,023	24.0	41,666	23.8
試 験 研 究 開 発 費	10,601	7.1	10,988	6.3
営 業 利 益	8,179	5.5	13,014	7.5
そ の 他 費 用 - 純 額 -	1,353	0.9	312	0.2
税 引 前 四 半 期 純 利 益	6,826	4.6	12,702	7.3
法 人 税 等	2,212	1.5	3,989	2.3
持 分 法 投 資 損 益 (△ 利 益)	△ 27	△ 0.0	△ 594	△ 0.3
非 支 配 持 分 控 除 前 四 半 期 純 利 益	4,641	3.1	9,307	5.3
非 支 配 持 分 帰 属 損 益 (△ 損 失)	△ 79	△ 0.0	60	0.0
当 社 株 主 に 帰 属 す る 四 半 期 純 利 益	4,720	3.1	9,247	5.3

(四半期連結包括損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

期 別 科 目	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
	金 額	金 額
非支配持分控除前 四半期純利益	4,641	9,307
その他の包括利益－税効果考慮後		
為替換算調整額	△ 8,504	8,791
退職年金債務調整額	282	288
売却可能有価証券未実現損益	△ 1,908	1,394
デリバティブ純損益	△ 47	△ 202
その他の包括利益(△損失)計	△ 10,177	10,271
四半期包括利益(△損失)	△ 5,536	19,578
(内訳)		
非支配持分に帰属する四半期包括利益(△損失)	△ 87	137
当社株主に帰属する四半期包括利益(△損失)	△ 5,449	19,441

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別		前第1四半期連結累計期間		当第1四半期連結累計期間	
			〔自平成24年4月1日 至平成24年6月30日〕		〔自平成25年4月1日 至平成25年6月30日〕	
I 営業活動によるキャッシュ・フロー						
1. 非支配持分控除前四半期純利益				4,641		9,307
2. 営業活動によるキャッシュ・フローへの調整						
(1) 減価償却費			5,275		5,720	
(2) 固定資産除売却損(純額)			47		160	
(3) 投資有価証券売却益(純額)	△		0		△ 1,122	
(4) 投資有価証券の減損			576		—	
(5) 退職給付引当金	△		928		△ 1,187	
(6) 繰延税金			233		△ 134	
(7) 持分法投資損益(△利益)	△		27		△ 594	
(8) 資産・負債の増減						
① 受取手形及び売掛金の減少			15,065		11,439	
② たな卸資産の増加	△		2,079		△ 5,459	
③ その他の資産の減少			217		1,189	
④ 支払手形及び買掛金・未払金の増加(△減少)	△		6,545		1,785	
⑤ 未払税金の増加(△減少)			511		△ 896	
⑥ 未払費用及びその他流動負債の減少	△		3,760		△ 2,829	
(9) その他の(純額)	△		643		454	
				7,942		8,526
営業活動によるキャッシュ・フロー				12,583		17,833
II 投資活動によるキャッシュ・フロー						
1. 投資有価証券の売却による収入				1		1,909
2. 投資有価証券の取得				—		△ 2,010
3. 資本的支出	△		7,027		△ 5,809	
4. 施設借用保証金の減少(純額)			64		74	
5. 有形固定資産の売却による収入			368		224	
6. 非支配持分の買取	△		10		—	
7. 関連会社に対する投資及び貸付金の減少(△増加)	△		884		56	
投資活動によるキャッシュ・フロー				△ 7,488		△ 5,556
III 財務活動によるキャッシュ・フロー						
1. 短期債務の増加(純額)				5,002		3,827
2. 親会社の支払配当金	△		3,082		△ 5,063	
3. 非支配株主への支払配当金	△		2		—	
4. 非支配株主からの資本取引による入金額			185		—	
5. その他の(純額)	△		83		△ 177	
財務活動によるキャッシュ・フロー				2,020		△ 1,413
IV 換算レート変動の影響				△ 1,651		1,184
現金及び現金同等物の増減額				5,464		12,048
期首現金及び現金同等物残高				45,257		55,708
四半期末現金及び現金同等物残高				50,721		67,756
営業活動によるキャッシュ・フローの追記						
1. 支払利息の支払額				66		80
2. 法人税等の支払額				1,474		5,014
キャッシュ・フローを伴わない投資及び財務活動の追記 資本的支出に関連する債務				381		218

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

[事業の種類別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

(単位: 百万円)

	I A B	EMC	A E C	S S B	H C B	その他	計	消去調整他	連結
売上高									
(1)外部顧客に対する売上高	65,951	21,316	24,101	10,016	15,366	11,528	148,278	1,606	149,884
(2)セグメント間の内部売上高	1,458	10,770	60	822	12	4,109	17,231	△ 17,231	—
計	67,409	32,086	24,161	10,838	15,378	15,637	165,509	△ 15,625	149,884
営業費用	59,208	30,482	22,644	12,490	14,477	16,694	155,995	△ 14,290	141,705
営業利益(△損失)	8,201	1,604	1,517	△ 1,652	901	△ 1,057	9,514	△ 1,335	8,179

当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

(単位: 百万円)

	I A B	EMC	A E C	S S B	H C B	その他	計	消去調整他	連結
売上高									
(1)外部顧客に対する売上高	66,768	23,693	29,290	12,774	20,946	19,533	173,004	1,580	174,584
(2)セグメント間の内部売上高	1,778	11,494	34	884	2	6,582	20,774	△ 20,774	—
計	68,546	35,187	29,324	13,658	20,948	26,115	193,778	△ 19,194	174,584
営業費用	60,891	33,647	27,114	15,492	18,734	23,949	179,827	△ 18,257	161,570
営業利益(△損失)	7,655	1,540	2,210	△ 1,834	2,214	2,166	13,951	△ 937	13,014

(注) 経営管理区分の見直しにより、平成26年3月期より、「EMC」傘下の一部を「I A B」の事業セグメントに含めて開示しています。
これに伴い、前第1四半期連結累計期間を新管理区分に組替えて表示しています。

[所在地別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

(単位: 百万円)

	日本	米州	欧州	中華圏	東南アジア 他	計	消去又は 全社	連結
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	70,310	20,109	18,830	26,948	13,687	149,884	—	149,884
(2)セグメント間の内部売上高	31,428	468	271	15,090	3,989	51,246	△ 51,246	—
計	101,738	20,577	19,101	42,038	17,676	201,130	△ 51,246	149,884
営業費用	96,574	19,983	18,582	39,582	16,562	191,283	△ 49,578	141,705
営業利益(△損失)	5,164	594	519	2,456	1,114	9,847	△ 1,668	8,179

当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

(単位: 百万円)

	日本	米州	欧州	中華圏	東南アジア 他	計	消去又は 全社	連結
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	76,520	22,211	23,850	33,335	18,668	174,584	—	174,584
(2)セグメント間の内部売上高	38,527	679	358	22,842	5,086	67,492	△ 67,492	—
計	115,047	22,890	24,208	56,177	23,754	242,076	△ 67,492	174,584
営業費用	107,864	23,174	23,568	51,347	21,533	227,486	△ 65,916	161,570
営業利益(△損失)	7,183	△ 284	640	4,830	2,221	14,590	△ 1,576	13,014

(注) 日本以外の区分に属する主な国または地域
 (1) 米州……………米国・カナダ・ブラジル
 (2) 欧州……………オランダ・英国・ドイツ・フランス・イタリア・スペイン
 (3) 中華圏……………中国・香港・台湾
 (4) 東南アジア他……………シンガポール・韓国・インド・豪州

[海外売上高]

前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

(単位:百万円)

	米州	欧州	中華圏	東南アジア他	計
I 海外売上高	20,387	20,136	27,266	14,255	82,044
II 連結売上高					149,884
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	13.6	13.4	18.2	9.5	54.7

当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

(単位:百万円)

	米州	欧州	中華圏	東南アジア他	計
I 海外売上高	22,605	25,216	33,397	19,629	100,847
II 連結売上高					174,584
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	13.0	14.5	19.1	11.2	57.8

(注) 各区分に属する主な国または地域

- (1) 米州……………米国・カナダ・ブラジル
- (2) 欧州……………オランダ・英国・ドイツ・フランス・イタリア・スペイン
- (3) 中華圏……………中国・香港・台湾
- (4) 東南アジア他……シンガポール・韓国・インド・豪州

4. 補足情報

(1) 連結業績概要

		第1四半期累計			通期		
		平成25年3月期 第1四半期	平成26年3月期 第1四半期	前年同期比	平成25年3月期	平成26年3月期 予想	前期比
売上高	百万円	149,884	174,584	116.5%	650,461	710,000	109.2%
営業利益 (率)	百万円 (%)	8,179 (5.5%)	13,014 (7.5%)	159.1% (+2.0P)	45,343 (7.0%)	58,000 (8.2%)	127.9% (+1.2P)
税引前四半期(当期)純利益 (率)	百万円 (%)	6,826 (4.6%)	12,702 (7.3%)	186.1% (+2.7P)	41,237 (6.3%)	56,500 (8.0%)	137.0% (+1.7P)
当社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	百万円	4,720	9,247	195.9%	30,203	40,000	132.4%
1株当たり当社株主に 帰属する四半期(当期)純利益	円 銭	21円44銭	42円01銭	+20円57銭	137円20銭	181円71銭	+44円51銭
潜在株式調整後 1株当たり当社株主に 帰属する四半期(当期)純利益	円 銭	21円44銭	—	—	137円20銭	—	—
総資産	百万円	517,839	591,153	114.2%	573,637		
株主資本 (株主資本比率)	百万円 (%)	315,379 (60.9%)	386,394 (65.4%)	122.5% (+4.5P)	366,962 (64.0%)		
1株当たり株主資本	円 銭	1,432円70銭	1,755円34銭	+322円64銭	1,667円04銭		
営業活動による キャッシュ・フロー	百万円	12,583	17,833	+5,250	53,058		
投資活動による キャッシュ・フロー	百万円	△7,488	△5,556	+1,932	△28,471		
財務活動による キャッシュ・フロー	百万円	2,020	△1,413	△3,433	△18,550		
現金及び現金同等物 四半期末(期末)残高	百万円	50,721	67,756	+17,035	55,708		

(注) 連結子会社数は154社、持分法適用関連会社数は11社です。

(2) 連結セグメント別売上高実績

(単位：億円)

		平成25年3月期 第1四半期累計	平成26年3月期 第1四半期累計	前年同期比
I A B	国 内	290	263	90.6%
	海 外	370	405	109.5%
	計	660	668	101.2%
E M C	国 内	66	70	105.8%
	海 外	147	167	113.6%
	計	213	237	111.2%
A E C	国 内	82	61	74.4%
	海 外	159	232	145.8%
	計	241	293	121.5%
S S B	国 内	99	127	127.9%
	海 外	1	1	82.9%
	計	100	128	127.5%
H C B	国 内	69	68	99.6%
	海 外	85	141	165.7%
	計	154	209	136.3%
その他	国 内	60	135	225.3%
	海 外	55	60	108.5%
	計	115	195	169.4%
消去調整他	国 内	13	14	103.5%
	海 外	3	2	77.4%
	計	16	16	98.4%
合 計	国 内	679	738	108.7%
	海 外	820	1,008	122.9%
	(海外比率)	(54.7%)	(57.8%)	(+3.1P)
	計	1,499	1,746	116.5%

(3) 連結セグメント別営業利益実績

(単位：億円)

	平成25年3月期 第1四半期累計	平成26年3月期 第1四半期累計	前年同期比
I A B	82	77	93.3%
E M C	16	15	96.0%
A E C	15	22	145.7%
S S B	△ 17	△ 18	—
H C B	9	22	245.7%
その他	△ 11	22	—
消去調整他	△ 12	△ 10	—
合計	82	130	159.1%

(注) 経営管理区分の見直しにより、平成26年3月期より、「EMC」傘下の一部を「IAB」の事業セグメントに含めて開示しています。これに伴い、平成25年3月期の営業利益を新管理区分に組替えて表示しています。

(4) 期中平均レート実績

(1外貨当たり 円)

	平成25年3月期 第1四半期累計	平成26年3月期 第1四半期累計	前年同期比
USD	80.4	98.3	+17.9
EUR	103.4	127.6	+24.2

(5) 連結セグメント別売上高予想

(単位：億円)

		平成25年3月期	平成26年3月期 予想	前期比
I A B	国 内	1,163	1,170	100.6%
	海 外	1,467	1,650	112.5%
	計	2,630	2,820	107.2%
E M C	国 内	267	295	110.6%
	海 外	574	645	112.3%
	計	841	940	111.8%
A E C	国 内	302	250	82.6%
	海 外	674	835	123.9%
	計	976	1,085	111.1%
S S B	国 内	685	740	108.1%
	海 外	3	20	655.7%
	計	688	760	110.5%
H C B	国 内	295	310	105.1%
	海 外	420	515	122.5%
	計	715	825	115.4%
その他	国 内	414	365	88.1%
	海 外	178	255	143.1%
	計	592	620	104.7%
消去調整他	国 内	54	45	82.5%
	海 外	9	5	55.6%
	計	63	50	80.5%
合 計	国 内	3,180	3,175	99.9%
	海 外	3,325	3,925	118.0%
	(海外比率)	(51.1%)	(55.3%)	(+4.2P)
	計	6,505	7,100	109.2%

(6) 連結セグメント別営業利益予想

(単位：億円)

	平成25年3月期	平成26年3月期 予想	前期比
I A B	313	365	116.4%
E M C	44	70	160.9%
A E C	50	70	139.7%
S S B	29	45	154.4%
H C B	44	70	158.8%
その他	25	35	138.6%
消去調整他	△ 52	△ 75	—
合計	453	580	127.9%

(注) 経営管理区分の見直しにより、平成26年3月期より、「EMC」傘下の一部を「IAB」の事業セグメントに含めて開示しています。これに伴い、平成25年3月期の営業利益を新管理区分に組替えて表示しています。

(7) 期中平均レート予想

(1外貨当たり 円)

	平成25年3月期	平成26年3月期 予想	前期比
USD	83.2	92.5	+ 9.3
EUR	107.6	122.3	+14.7